

会 報

# 鳥 取

第 30 号

2016年 1月



表紙		高齢者活躍人材人材育成事業実施状況	16	
目	新年の挨拶 (連合会会長)	2	シルバー人材センターの紹介	17~18
	新年の挨拶 (鳥取労働局長)	3	会員のひろば(智頭町、北栄町)	19~20
次	理事長の抱負	4~10	◇ 趣味のひとつとき (八頭町)	21
	平成27年度事業実施状況	11~12	講習会に参加して	22~23
	シニアワークプログラム事業実施状況	13~14	会員名簿・あとがき (裏表紙)	
	生涯現役社会実現事業実施状況	15		

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

# 新年のごあいさつ



会長 宇野 浩 己

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

# 新春

新しい年を迎え謹んでごあいさつ申し上げます。

会員の皆様にはシルバー事業の運営にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

また、行政をはじめ関係者の皆様には格別なご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

お蔭様にて地域高齢者に対する意識が福祉の受け手から社会の担い手へと改革し転換が図られ、地域社会の共感を呼びシルバー事業が幅広く有効活用されてまいりました。

わが国は世界に類をみない高齢化が進展し、地域によっては2〜3人に1人が65歳以上の超高齢者社会となりました。なかでも本県では、中山間地域で高齢化率が100%の集落も実在する

ようになり、普通でない社会構造となり、あらためて具体的な対応が迫られています。

こうした中、一般に無縁社会が広がり高齢者の孤立化が深まり生活困窮者も急増しており、生活保護の高齢者世帯は全体の49・2%も占めるに至ったと報道されています。

今後更に進展する超高齢社会の中で、引き続き活力を維持するためには多くの元気な高齢者が、知識と経験を活かし地域の活性化に貢献していくことが、何よりも不可欠な条件となっています。

近年平均寿命の延伸により、人生は一世紀時代となつてまいりましたが、従来から長生きが人生の目標としており、第2の人生をリスキだと感じることはないよう、セカンドライフの生きがい充実こそが最も大切な課題となっています。

今や高齢者の就業活動は65歳までは普通に働くということが社会の常識となつて参りました、しかし中には定年後の就業機会を雇用の場に求

めないシニア層も少なくない一方、更に65歳以降の高齢者ニーズや地域社会の仕組みから、より柔軟にして多様な働き方が強く求められるようになりました。

就業希望者全員を対象に、雇用・非雇用問わず就業機会の確保・提供が喫緊の課題となつてまいりました。

これからも会員の皆様のお声をお聞きしながらシルバー事業の活性化のため取り組みますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

会員並びに関係者の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



# 新年のぞい挨拶



鳥取労働局長

河野 純 伴

# 賀 正

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、新年を寿ぐとともに皆様の健康を心からお祝い申し上げます。

さて、我が国経済は、一昨年4月の消費税率引き上げの影響を受けて、景気回復力に弱さが見られましたが、昨年に入って景気は緩やかな回復基調が続き、鳥取県内においても、正社員の有効求人倍率も上昇の傾向が続くなど、雇病情勢の改善傾向が続いています。

また、鳥取県が毎月発表している「鳥取県の経済動向」によると、昨年当初の基調判断は「二進一退しつつ、引き続き持ち直しの動き」とされ、雇用については、「一部指標は上向く

も、足踏み感が残る」とされましたが、その後は多くの月で「引き続き改善の動き」とされています。

一方で、昨年10月の鳥取県の有効求人倍率は1・21倍となり、前年同期に比べ0・29ポイント上昇したものの平成23年10月から49か月連続で全国平均を下回る状況となっています。

このような、先行きにまだ不透明感も残る雇用失業情勢の中、我が国は世界に類を見ない速さで高齢社会が進展しており、今後社会の活力を維持していくためには、経済が安定して発展するとともに、経験が豊富で意欲と能力のある高齢者が、可能な限り社会の支え手として活躍し、年齢に関わりなく働くことができる「生涯現役社会」を実現する必要があります。

このため、鳥取労働局では、生涯現役社会の実現を目指し、企業等に対する年齢を問わない求人募集の指導、希望者全員が65歳まで働くことのできる雇用確保措置の導入指導、さらに70歳まで働くことのできる制度の積極的普及を図

るとともに、シルバー人材センター事業の推進により、高齢者が地域で働ける場や社会を支え活動できる場の拡大に取り組んでいるところです。

特に、シルバー人材センター事業は、高齢者の多様な就業ニーズに応じた重要な役割を担っており、各シルバー人材センターの役割と取り組みは、高齢化の一層の進展により、今後ますますその重要性を増すこととなります。

会員の皆様には、我が国における社会活力維持等のため、今後も社会の支え手として一層活躍いただきますようお願いいたしますとともに、シルバー人材センター事業のますますのご発展と、会員の皆様のご健康をお祈りして、新年に当たつてのごあいさついたします。



# シルバー人材センター

## 理事長の抱負

公益社団法人 鳥取市シルバー

人材センター



理事長 西根 弘康

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、わが国は、人口が減少する一方、高齢化率が上昇し、生産年齢人口が減少していくことが予測されています。このことは、医療保険や年金等を支える人1人当たりの負担を大きくし、社会保障制度そのものを危うくする要因となっています。そのため、現在国においては、高齢者に労働力不足の分野や、介護・育児等の現役世代を支える分野を担ってもらおうとしています。

元気な高齢者の集まりであるシルバー人材センターには、労働保険を原資とする「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の推進が求められ、既存の

労働者では支えきれない分野を担うことが期待されています。

当センターにおいては、平成二十七年年度の派遣の就業延人員の目標値を千五百二十人日以上とし、目標に到達するように就業拡大に取り組み、現在、順調に推移しているところです。

また、鳥取市において、平成二十九年度から開始される「鳥取市生活支援・介護予防サービス」の体制整備に向け、設置された同サービス検討会のメンバーに本センターも加わっています。今後、この分野には重点的に取り組んでいきたいと考えているところです。

当センターは、鳥取市をはじめとする行政機関等と連携を図りながら、高齢者の福祉の増進に寄与するとともに、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしていきます。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。



公益社団法人 米子広域シルバー

人材センター



副理事長 後藤 巖

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会会員・役員、事業関係者の皆様におかれては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持と米子市・日吉津村など関係機関のご支援・ご協力により、不断の事業運営が図られておりますことを厚くお礼申し上げます。

平成二十六年度は「公益社団法人」に移行した最初の年度でした。その事業実績は、会員数が一・八%増の七六三名、契約金額は三・五%減の二億一千九百万円、就業延べは三・四%減の五万四千七百人日でした。会員増強・拡大は、関係各位のお取り組みに基づく就業機会の拡大によって図れるものと考えますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしく願います。

さて、基盤の平成二十七年年度補助事業は平成二十六年度に比べ、企画提案方式事業が終了し事業費補助が減額となりましたが、厚生労働省の特別会計（雇用保険雇用勘定）を活用し、労働者派遣事業に焦点をあてた「高齢者活用・現役世代サポート事業」として新たな事業費補助も始まり、総合して若干の増額となりました。

また、今年が高齢者などの生活支援サービスの更なる充実が求められる現在、「新総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」として重層的な地域サービス提供を図る市町村の事業に移行される過程ですが、シルバー事業がその介護予防プログラムや訪問サービス等実施の受け皿になることが非常に有効であるとの指摘、提案があり、新たな就業分野、公的な受注としての介護予防事業の立上げを準備しております。

会員各位や地域の皆様のご理解・ご協力のお願いと、事業関係者の皆様のご健勝並びにご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



公益社団法人 倉吉市シルバー  
人材センター



理事長 山脇 誠

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、新年を健やかに迎えのことに  
お慶び申し上げます。

さて、年末になりますと、1年の世相を漢字1文字で表す恒例行事が話題となりますが、昨年は「安」ということでありました。安全保障関連法案に対する国会の紛糾やテロに対する不安が選定の理由ということでありました。この「安」はマイナスイメージの「安」でしたが、今年は安心、安全の「安」になればと願っております。そして、シルバー事業におきましても、皆さんが安全就業で怪我なく1年を過ごしていただければと思います。

社会情勢を顧みますと、少子・高齢化社会が進行し、医療問題、年金問題、人手不足の問題が深刻となっております。こうした中、シルバー人材センターへの期待は益々重要になってきております。会員の皆様は、日常生活に密着した仕事を通して、地域社会に貢献され、そして何よりご自身の生きがいや健康増進、経済的自立など、地域社会の中で「支えられる側」ではなくて「支える側」を実践しております。

しかしながら、シルバー人材センターの現状は、

高齢者の方は年々増加していますが、会員数の減少、契約件数の減少が続いております。原因の究明と対策を早急に行わなければならないと考えております。

会員の皆様、役職員の皆様がこれまで築いてこられたシルバー人材センターの地域社会での確たる地位をもとに、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んで行きたいと考えております。

この一年が、関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、新年の抱負といたします。

公益社団法人 境港市シルバー  
人材センター



理事長 高松 武美

新年明けましておめでとうございます。皆様には  
お健やかに、平成二十八年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、低迷しておりました事業実績も、なんとか持ち直しの兆しが見え、会員数も増えず、減らずという状況からこれも若干上向いてきております。

現在、国においては、地域創生や一億総活躍社会の実現に向け、シニア世代の就労について検討がされております。

境港市では、「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されるに当たり、この事業を推進するための協議会の一員に加えて頂き、シルバーとしてどう、この事業に参画するのか、協議をしております。

いずれにせよ、今後見込まれる生活支援サービス事業に因應するためには、会員の拡大が最重要の課題であると考えています。とりわけ、現在、三割程度になっている女性会員の入会拡大のチャンスでもあると思います。会員の皆さんが、生活支援の担い手になるこそ、まさに地域貢献であると考えます。

超高齢者社会が急速に進展し、労働者人口が減少する中、センターの重要性は益々高まっています。会員の豊富な経験と知識を生かし、「福祉の受け手」から「福祉の担い手」ひいては「地域社会の担い手」としての活躍を地域の皆さんが期待しています。結びに、この一年の、関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念して新年のごあいさつといたします。



理事長 安達 幸男

公益社団法人 南部広域シルバー  
人材センター

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。我が国は、世界に例のない速さで少子高齢化が進

み人口も減少に向かい鳥取県でも2015年11月の人口は、569,977人とピーク時の1988年616,371人に比べ四六、三九四人が減っています。

また、65歳以上の高齢者人口の割合も30%の割合に乗り、地域によつては、49・6%と超高齢社会を迎えています。今後も人口減少は続く想定されます。この様な中であつて地域の担い手不足が危ぶまれることからシルバー人材センターの果たす役割はますます重要となっております。シルバー関係者一人一人がよく認識し対応に努めなければならない。住み慣れた地域の安全安心を守るためにも、「会員」の活躍が大きく求められています。

長年培った知識、技能、経験そして年を取っても衰えない能力を活かすことが高齢者個々にとつても健康寿命を延ばすことにつながり、明るい長寿社会を目指します。

2015年介護保険制度の改正により、要支援1、2は地方自治体に任せられることとなり、担い手不足が予想されることから重点課題と位置づけ取り組んで参ります。

3年問題で中止していた派遣事業も法改正を受け再開いたしました、安全適正就業を守り就業の拡大、会員の拡大に努め事業の推進を図つて参ります。

今後行政と連絡を密にして環境整備等社会参画にも力を注ぎ地域との信頼関係を築き、活力あるシ

ルバー人材センターを構築してまいります。終わりに皆様のご多幸ご健勝を祈念申し上げます。



理事長 小林 實夫

公益社団法人 智頭町シルバー  
人材センター

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

さて、本年も益々進む「少子高齢化」で高齢者が社会の担い手として、社会参画が求められている。今、わが智頭町に於いても高齢化率37%を超え、地域社会の活性化にシルバー人材センターがいかに貢献できるか手腕の見せどころと気持ちを引き締めるところです。

今後シルバー人材センターの事業拡大は、派遣就業分野をいかに伸ばすかにかかっていると同時に介護保険法が改正されたことによる「介護予防・日常生活支援総合事業」を町と連携しながら取り組んでいくよう準備しているところです。

現行の受注する就業の多くは「請負・委任」で、受注高は、昨年と比較して減少傾向にあります。今後適正就業の徹底を図りつつ就業開拓にも努め

ます。

依然シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しい状況ではありますが新規事業の展開等、むしろ多くの好機が広がっていると捉えて、シルバーの原点である「高齢者の技術・能力と知識・経験を活かして行政の谷間を補完する」を再認識して、「自主・自立・協働・共助」の基本理念をもとに、明るく活力に満ちた地域社会づくりとなるよう、事業活動を進めていく所存です。

終わりにりましたが、関係各位のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、事業関係者の皆様のご健勝並びにさらなるご活躍をお祈り申し上げて新年のご挨拶とします。



公益社団法人 岩美町シルバー人材センター  
理事長 溝口 修

謹んで新春のお慶びを申し上げます。併せて各シルバー人材センター、連合会の会員、関係各位のご健勝を祈念いたします。

常日頃より岩美町シルバー人材センター事業について、会員・役員・行政の関係者の皆様からの暖かいご指導とご協力を頂き、堅実に事業活動が進展しています。心からお礼申し上げます。

突然のことでしたが昨年五月の定時総会において理事長の大役を仰せつかりました。

二十七年度も契約額・就業率など目標達成の見込みであり、感謝でいっぱいです。高齢者の卓越した技能と笑顔が次世代に連鎖して、地域に生きている証です。

少子高齢化が急速であり、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しさが続いているにも関わらず、社会の重要な担い手となって行動し、着実に地域に貢献していると確信しています。

しかし、会員数は減少しており、現在百五十一名のチャンスです。

来年度から実施する、高齢者の地域就業機会創出事業の拡大など、国政レベルの施策が我々センターの直結事業となるなど、複雑な時代ですが、皆様との親戚感覚でのお付き合いのもと、事業を進めたいと考えています。

「きなんせ岩美 道の駅」、「漫画フリー」の若い観光客の増大、「地域おこし協力隊」など、岩美町の魅力発信の材料が揃ってきているので、高齢者の卓越した技能が地域社会の発展に生かれます。

「自主・自立・共働・共助」のもと「シルバー人材センターで働いて良かった」と実感できるように会員、役職員が心ひとつになって前進することを決意しています。

日々新しく地域再生計画に貢献できる本格的な「シルバー人材センターの出番」が始まりました。

今年も関係各位のご支援とご協力をうけ賜りますとともに、皆様のご健康とご多幸をご祈念し、念頭のご挨拶とします。



一般社団法人 八頭町シルバー人材センター  
理事長 衣笠 春壽

謹んで新年のお慶びを申し上げます。あわせて県内シルバー会員の皆様、関係各位が健やかに新年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨今の国際情勢、国内の社会情勢は引き続き複雑であり、深刻に推移しているところで、いずれも解決の見えない様相にシルバー世代と云えども、経験のない未知の不安が増すばかりです。この中で八頭町シルバーの新年を迎えるの抱負や課題は、県内各シルバー人材センターの皆様と同様なものであろうと考えますが、何といたっても一番の大きな課題は六十五才定年制移行により、会員増が期待できない中、手慣れた会員のさらなる高齢化であろうと思えます。高齢者の多い田舎社会で、日常生活でのシルバーへの期待は増加の一方であり、貢献できる役割は増加の一途と思われます。一万八千人町民の町、

一五〇名会員が九〇%を超える就業率を維持し、少数精鋭でがんばっている現状に励まされ、加えて予算の少ない中で町行政の前向きな支援をいただいています。今こそ、高齢化率三〇%を超える中、町民の皆様の期待・信頼に貢献できるよう、会員相互の穏やかな連携、安全安心、元氣健康を念頭に事務局も一丸となりがんばって行こうと意を強くしているところでもあります。

皆様の引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げますと、ともに関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



公益社団法人 湯梨浜町シルバー  
人材センター

理事長 小居 貞歳

新年あけましておめでとうございます。

新年を皆様と共に迎え、本年が良い年になりますよう祈願いたします。

社会構造の変化と少子高齢化が進み、私たち高齢者の雇用や就業形態にも変化が生じてきています。

シルバー会員の能力に応じた仕事に従事することで経験を活かし会員が働く事に希望を持ち、さらに社会に奉仕することもできるシルバー人材センターがますます重要であると思っております。

生きがい就業のためにも、健康であることが大事だと思えます。昔から禅の教えに「心身一如」と言う言葉がありますが、「心も体も」両方共に健康で作業に集中出来ることがなによりで、どうぞこの一年が、事故のない良い一年でありたいと願っております。



公益社団法人 北栄町シルバー  
人材センター

理事長 日置 勝彦

あけましておめでとうございます。

今年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようにご祈念申し上げます。

さて、昨年末の総選挙により自公連立政権が継続することとなりました。景気の回復が図られ、雇用の促進や格差の是正、社会保障の充実はもとより、多くの政治課題が徹底論議のうえ推進されることを願うとともに、地方の活性化が図られ、シルバー事業の運営にも好環境が反映されることを期待するところです。

ところで、シルバー事業の現状は、会員の高齢化による事業費の低迷や、会員の減少など組織の弱体化が危惧されています。当シルバーにおいては、専門員を配置し派遣による業務を開拓するほか、農業

部門、高齢者世帯や空き家対策を進め、就業機会の拡大により事業実績の向上をめざし、会員拡大については理事・会員の協力を求め、安全適正就業の推進により組織強化を図りたいと思います。

特に、会員拡大については、団塊の世代が六十五歳に達する中で、この年代の会員をシルバー会員として勧誘し、力強く事業展開するとともに、会員が楽しく安全に就業できる環境づくりに配慮し、北栄町シルバー人材センターが、公益法人として地域の皆様に信頼される組織として発展するよう取り組んでまいりたいと思います。



公益社団法人 琴浦町シルバー  
人材センター

理事長 田中 明

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、シルバー事業の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

シルバー人材センター事業は「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、働く意欲のある高齢者が、これからの人生を「いきいき」と過ごし福祉の受け手になるのではなく支えとなつて社会に貢献

する団体です。

しかし、シルバー人材センターを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

特に、少子高齢化が進む一方で平均寿命は伸び続け、定年も延長されるなど、高齢者の労働環境は大きく変化してきています。

新事業として、高齢者により多様な就業機会を提供する観点から労働者派遣事業に取り組み、人手不足分野や現役世代を支える分野での人材不足の手助けをするを、重点において事業の拡大を求めて行くためにも会員の増員を呼びかけて行きます。

高齢者の日常生活に於いて生きがいを感じ、楽しく、明るく、楽しみながら健康で暮らせる地域社会を求めると共に、関係各位の一層のご指導、ご支援を重ねてお願いし、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



理事長 近藤 昭夫

公益社団法人 大山町シルバー  
人材センター

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、少子高齢化が加速的に進行の中、2030

年には75歳以上の高齢者が、人口の2割を占めると

いう超高齢社会が日本に到来し、その対策として高齢者が支えられる側から支える側に回れる社会システムが必要で、国も生涯現役社会を目指していると聞いております。

その一方、シルバー会員数は加齢による退会者もあり減少傾向です。シルバー人材センター（以下S C）がさらなる発展に繋げるためには、会員の増強、新規の就業開拓そして安全・適正就業の推進とともに会員皆様始め、公共団体そして一般企業等の発注者皆様の信頼を広めて行くことが必要であり、本年も会員・役職員が一体となり、地域に親しまれるS Cを目指し「自主・自立・協働・共助」を今一度再確認し、一層努力してまいりますととにも、皆様方のご健康とご活躍を祈念いたし、新年のご挨拶と致します。



理事長 山本 信男

江府町シルバー  
人材センター

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会・会員をはじめ、事業関係者の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、近年は東日本大震災・巨大台風の接近上陸

・ゲリラ豪雨による災害等々自然災害が多く発生し、その上わが国では、15年来のデフレ経済をなんとか脱出した感がある国内経済ですが、TPPや中国・韓国との領土権の問題、社会保障制度の充実、消費税等々未解決の難題等が山積みしており、なかなか将来に明るい希望が持てない状況です。

当シルバーは、県下最小、脆弱なシルバー人材センターと自覚しております。

しかし、逆に小さいがゆえに出来ることあると思えます。今年も「自主・自立・共働・共助」を基本理念にすえ「小さくてもキラリと輝くシルバー人材センター」「会員同士お互いの顔が見えるシルバー人材センター」「地域の皆様から重宝がられるシルバー人材センター」の三つを活動の礎とし今年も活動してまいります。

魅力あるシルバー人材センターとすることは、極めて困難な社会情勢であります。今年が、明るくて魅力のあるシルバー人材センターとなることを信じ、各自の健康に留意しながら、小さなことを積み重ねてまいります。

このことが、地域住民の皆様・会員の皆様にとって魅力あるシルバー人材センターにつながることを確信しております。

今年こそ会員全員が「人生下り坂・最高」なるようにするため精一杯頑張ります。皆様の一層のご指

導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、東日本大震災をはじめ国内で発生した自然災害・原発事故等からの一日も早い復興・復旧・脱却を祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー

人材センター

会長 池岡 利行



新年あけましておめでとうございます。

会員および関係の方々と共に。本年も実り多い年であることを祈念いたします。

さて、昨年（27年）は我が町のシルバー人材センターは、大変忙しく、うれしい悲鳴の一年でした。

具体的には、田畑の畔の草刈り、遊休地の草刈り、墓地の清掃等でしたが、特に庭木の剪定は注文が殺到し数ヶ月待ちとなりました。剪定の依頼が多くなった理由は、今までは家族で対応していましたが、高齢化により「シルバーに依頼した」との事です。しかし注文が多くなっても技能者の数が少なく、早期の取り掛かりが遅れてしまいました。

剪定作業は技術が必要なため即誰でも簡単にできる仕事ではありません。また敬遠される（難しい）仕事でもあります。庭木には多くの種類があり、剪定の時期や強度等難しい所もありますが、先輩の方

との共同作業によって、自然と覚えることが出来ます。そして年々充実してゆく枝ぶりを見ると、喜びも湧き上がってきます。

作業の終了後「大変きれいになった」と喜んで下さる家の方との声と顔を見るのが何より嬉しく感じます。

出来るだけ沢山の会員の方々と協力し合って地域の方々要望に応えられるよう努力したいと考えています。

三朝町シルバー

人材センター

理事長 田渕 忠昭



新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年世界では、テロ、銃乱射事件等々の一般市民を恐怖におとし入れるような事件が多発し、国内では、異常気象、個人情報の漏えい等々の事件、事案が後を絶ちません。本年がどんな年になるかも想像できません。

さて、三朝町シルバー人材センターは、設立十四年を迎えます。昨年より理事長として選任され責任の重さを痛感しております。役員・会員の皆様の理

解と協力のおかげで業務実績を伸ばし、新しい年を迎えることができました。感謝申し上げます。

会員数も五十三名の人材の中で、多岐にわたり作業依頼があり、有り難く思っています。

これも先輩理事長・役員・会員の皆様の努力のおかげと感謝いたしております。

本年も適正就業・安全作業をモットーとし、配分金・作業環境の見直し等々会員の皆様が安心して作業に従事できるよう整えること、また新規会員の募集など会員の拡大に向け努力いたしたいと考えております。

最後になりましたが、関係各位のご支援ご協力をお願いし、皆様方のさらなるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



# 平成二十七年事業実施状況

## 平成二十七年度 定時総会

六月十九日（金）倉吉市にて開催

すべての議案が原案とおり承認されました。

第一号議案 平成二十六年度事業報告の件

第二号議案 平成二十六年度決算報告承認（監査報告）の件について

第三号議案 第九期役員を選任について

六月十一日（木）倉吉市にて開催

すべての議案が原案とおり承認されました。

第一号議案 平成二十七年度定時総会（案）について

第二号議案 平成二十六年収入支補正予算書（案）及び収支計算書（案）について

第三号議案 平成二十六年

第三号議案 平成二十六年



度事業実施報告書（案）【監査報告】について  
第四号議案 平成二十七年度収入支補正予算書（案）について  
第五号議案 第九期役員を選任について

## 第二回理事会

六月十九日（金）倉吉市にて開催

第一号議案 第九期代表理事及び業務執行理事の選任について

## 第三回理事会

十一月十三日（金）倉吉市にて開催

第一号議案 特定個人情報事務取扱規程（案）について

第二号議案 正会員会費の値下げについて

六月四日（木）倉吉市において開催  
出席者十一名

## 安全・適正就業推進委員会

一、平成二十七年度 安全・適正就業推進事業基本計画（案）について

二、平成二十六年度 事故（傷害・賠償）発生状況及び安全適正就業パトロール実施状況について

三、平成二十七年度 安全・適正就業研修会について

て



## 第一回事務局長会議

六月九日（火）倉吉市にて開催  
議題  
一、労働局から説明  
二、第一回都道府県連合事務局長会議伝達

## 安全・適正就業研修会

八月十八日（火）倉吉体育文化会館開催  
センター役職員・会員八十三名参加  
安全標語応募総数二百六十六編の中から最優秀・優秀・入選の十一名を表彰しました。

### 事例発表

三朝町シルバー人材センター理事長田淵忠昭氏の「就業中に感じた安全面について」、八頭町シルバー人材センター会員の安藤一富氏の「安全就業への思い」、また南部広域シルバー人材センター理事・安全就業委員の河上光輝氏から「現場パトロールで感じたこと」と題して事例発表がありました。

### 講話

倉吉消防署救急救命士御古和宏氏から「緊急時（熱中症、まむし、蜂刺され等）における対処法」をいただきました。



## 第二回事務局長会議

十月九日（金）倉吉市において開催  
一、第二回都道府県連合事務局長会議の伝達  
二、鳥取労働局説明

## 第三回事務局長会議

十二月九日（水）倉吉市に於いて開催  
一、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の現状  
と今後の取り組みについて協議

## 鳥取県経験交流大会

十一月十七日（火）倉吉市にて開催  
県内シルバー人材センター役員・会員及び、市  
町村担当者八十八名の参加。  
基調講演

「新しい介護予防・日常生活支援総合事業とシル  
バー人材センター」公益財団法人ダイヤ高齢社会研  
究財団研究部長石橋智昭氏



## 講話

「平成二十八年度シルバー人材センター関連予算  
等について」鳥取労働局職業安定部職業対策課長補  
佐遠藤一郎氏  
体験発表

「事務局長に就任して思うこと」（公社）境港市  
シルバー人材センター事務局長洋谷英之氏、（公社）  
北栄町シルバー人材センター事務局長杉川弘行氏

## 安全就業講習会の開催

安全就業は、シルバー  
事業の基本として各種講  
習会を実施。

○中部地区 刈り払機参  
加者十五名 九月十七  
日

○東部地区 チェンソー  
参加者十三名 十月二  
十一日

○西部地区 剪定 参加  
者二十一名 十月二十  
八日



## シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間

（公社）鳥取県シルバー人材センター連合会では  
「10月17日（土）」を「シルバーの日」として米子市  
の繁華街において啓発用ポスター、リーフレット等  
の配布、公共施設  
等の清掃・奉仕  
活動を行うなど、  
多様なPR活動を  
実施しました。



# 平成27年度シニアワークプログラム地域事業実施状況

鳥取労働局より「シニアワークプログラム地域事業」を受託し活動拠点の協力を得ながら、事業主団体及び企業と連携を図り多種多様な技能講習を行い、講習修了時に受講者対象に面接会を実施しました。

## 技能講習

No.	講習名	地区	日程	日数	定員	申込者	受講者	修了者	
1	ビジネスパソコン①	鳥取	6/9～6/19	9	20	24	23	22	
2	ビジネスパソコン	倉吉	6/15～6/25	9	20	26	22	20	
3	フォークリフト①	鳥取	6/16～7/27	6	15	21	15	15	
4	調理アシスタント	鳥取	7/9～7/27	7	20	22	21	19	
5	フォークリフト①	米子	7/10～8/21	6	15	14	12	11	
6	介護職員初任者	鳥取	8/3～9/18	25	25	25	25	24	
7	ビジネスパソコン①	米子	9/7～9/17	9	20	24	21	19	
8	フォークリフト②	鳥取	9/25～11/6	6	15	15	15	13	
9	調理アシスタント	米子	10/1～10/9	7	20	27	24	19	
10	ビジネスパソコン②	米子	10/2～10/16	9	20	22	20	19	
11	剪定スタッフ	鳥取	10/22～10/30	7	25	18	17	15	
12	フォークリフト	倉吉	10/23～11/27	6	15	17	17	17	
13	フォークリフト②	米子	11/20～1/8	6	15	29	25	20	
					計	245	284	257	232



フォークリフト講習実技



パソコン講習



調理実習



試食風景

面接会

地区	日程	講習名	企業数	求人数	参加者	面接件数	採用数
東部地区	6月19日(金)	ビジネスパソコン	1	1	22	4	0
	7月27日(月) (合同)	フォークリフト①	4	21	34	9	1
		調理アシスタント					
	9月18日(金)	介護職員初任者	6	49	24	20	5
11月6日(金)	フォークリフト②	2	16	13	4	0	
中部地区	11月27日(金)	フォークリフト	1	14	14	1	1
西部地区	8月21日(金)	フォークリフト①	2	14	9	9	1
	10月9日(金)	調理アシスタント	2	33	19	13	1



修了式の風景



面接会（管理選考）風景

## 生涯現役社会実現環境整備事業

本事業は、高齢者が健康で意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることが出来るよう高齢期における職業生活設計を高年齢者が自ら行い、当該設計を踏まえた働き方を検討・実施することが出来るようセミナー等を実施することにより生涯現役社会の実現に向けた高年齢者の環境整備を図ることを目的とするものです。

○6月16日鳥取市開催 34名参加



○7月22日倉吉市開催 35名参加



○9月16日米子市開催 36名参加



○10月22日鳥取市開催 42名参加



○11月26日米子市開催 26名参加



## 高齢者活躍人材育成事業

地域の高齢者がシルバー派遣就業を行うに当たり、必要な知識及び技能を付与することを目的とし、育児支援分野や人手不足分野等において、地域高齢者が活躍できるよう技能講習を実施しました。

開催地	講習名	講習日程	日数	定員	受講者
大山町	接遇・マナー講習	6月25日(木)	1	15	8
倉吉市	接遇・マナー講習	7月23日(木)	1	20	23
倉吉市	接遇・マナー講習	9月16日(水)	1	20	15
鳥取市	接遇・マナー講習	10月1日(木)	1	20	21
米子市	クリーンスタッフ養成講習	10月5日(月)～10月9日(金)	5	20	9
鳥取市	接遇・マナー講習	10月6日(火)	1	20	18
倉吉市	パソコン講習・初級	10月13日(火)～10月15日(木)	3	15	8
鳥取市	安全運転講習	10月14日(水)	1	10	6
鳥取市	安全運転講習	10月15日(木)	1	10	3
境港市	接遇・マナー講習	10月22日(木)	1	20	18
倉吉市	パソコン講習・中級	10月27日(火)～10月30日(金)	4	15	17
鳥取市	パソコン講習・初級	11月4日(火)～11月6日(金)	3	15	16
境港市	パソコン講習・初級	11月9日(月)～11月11日(水)	3	15	18
米子市	パソコン講習・初級	11月10日(火)～11月12日(木)	3	15	17
倉吉市	接遇・マナー講習	11月10日(火)	1	20	12
米子市	生活支援サービス講習	11月11日(水)～11月13日(金)	3	15	10
米子市	接遇・マナー講習	11月13日(金)	1	20	22
鳥取市	パソコン講習・中級	11月16日(月)～11月19日(木)	4	15	20
境港市	パソコン講習・中級	11月17日(火)～11月20日(金)	4	15	20
米子市	パソコン講習・中級	11月24日(火)～11月27日(金)	4	20	20
合計				335	301



接遇・マナー講習（境港）



接遇・マナー講習（倉吉）



接遇・マナー講習（鳥取）



クリーンスタッフ講習①



クリーンスタッフ講習②



安全運転講習①



安全運転講習②



生活支援サービス講習①



生活支援サービス講習②

# シルバー人材センターの紹介

## 公益社団法人 境港市シルバー人材センター

事務局長 洋谷英之

境港市は、長さ二十キロメートルの大砂州である弓浜半島北端に位置し、三方を海に囲まれています。東側には、白砂青松の続く雄大な海岸線があり、日本の「なぎさ百選」に選ばれています。海の恩恵を受け、水産の町として発展してきた境港市です。



平成五年に、当市出身で妖怪ブームの立役者になった漫画家の水木しげるさんが描く「ゲゲゲの鬼太郎」など、様々な妖怪のブロンズ像が立ち並ぶ「水木ロード」を設置したところ、そのユニークさが受けて年間二百万人の観光客が訪れるまでの観光地に生まれ変わりました。

また、中海をまたぎ、松江市と境港市を結ぶ日本一のPCラーメン橋「江島大橋」は、テレビコマーシャルで「ベタ踏み坂」と紹介されたことから、カメラを持った多くの観光客で休日は賑わっています。当センターは、水産加工団地の中に位置していることから、毎朝、荷を積んだ大型トラックが何台も隣接する国道を行き来しています。



そして、センターの事務所では、始業時間の午前八時半を待たずに出勤してきた会員の皆さんと職員



が、和やかに談笑しながら業務の打ち合わせを行っています。元氣一杯の皆さんですが、ピーク時には三百五十人近くあった会員数も、現在では百八十人にまで減少しております。何とか歯止めをかけなければと、入会説明会を随時開いたり、会員の口コミにより

入会を促したりと、あれこれ苦慮しております。

そのようなときに、県連合会主催の「接遇・マンナ講習」と「パソコン講習」が市内で開催され、多くの応募者がありましたので、講習終了後にセンターへの入会を呼びかけ



たところ、七名の方が説明会に来られました。皆さんにセンターへの要望などをお伺いしましたところ、従来からある除草などの屋外作業ではなく、屋内での安定した業務が各種選択できるよう、職域をもっと広げたらどうかなどの意見がありました。こういった希望に答え、会員の拡大を促進していくためには、労働時間の規制緩和も必要ではないかと改めて考えている今日この頃であります。

# シルバー人材センターの紹介

## 公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター

事務局長 福本 まり子

センターの事務所移転を行ってようやく一年になります。保育園施設の後利用で多世代交流施設（すこやか交流館）として、シルバー事務所のみならず、放課後児童クラブや子育て支援センターなど4団体が入り、子供達の元気な声が響くなか、シルバー会員や来客の人にとっては、文字通り、新たな出会いやふれあいの場ともなっています。

12月には、地域班、職群班の班長を対象に安全・適正就業研修を行った後、会員の協力を得て、餅つきやポップコーンなどを利用者と共同作業で行い、ささやかながら一周年を祝う会を催しました。孫やひ孫ともいえる年代の子やその親たちとの交流に、かつして普段の仕事では見せない笑みがこぼれ、なごやかなひとときを過ごしました。

少子高齢化が急速に進展するなかにあつては、従来の除草や草刈りといった業務に加え、子育てや介護、家事支援から墓の掃除などさまざまな仕事の依頼が増えてきています。

特に独り居りの高齢者からは、ゴミ出しや買い物依頼もあり、シルバー人材センターは「地域のよろずや」的な存在です。

しかし、その多様化するニーズのすべてに 대응できず、やむなく断りをしていくこともあり、

会員のニーズと地域のニーズのミスマッチが生じています。

長年培った経験をもとにシルバー会員としてもその能力を十分に発揮できることが理想ですが、企業で働いた経験の多くを生かされる機会は少なく、おのずと会員入会説明は、受注の多い草刈等のできる人を求めています。

多少なりとも刈払機は使ったこともあり、草刈は誰でもできると思いがちですが、刈り方・機械の管理など、シルバーに入会して先輩の会員にそのノウハウの手ほどきを受けながら、技術を磨き、生涯現役をめざしています。

シルバー会員としては、お客様とのやりとりや仕事の出来具合などが目に見えて結果として現れるものであり、まだまだ現役で地域社会と関わりを持つことは、生きがいと健康対策へとつながっています。

また、ランドゴルフや会員の研修旅行を唯一の楽しみにしている人もあり、会員同士の交流の機会は元気の源です。

県中部のシルバーでは、「シルバー婚活」の構想もあると聞かないと……。楽しみにしています。



一周年を祝って子育て支援センターの親子とポップコーンづくり



工場見学で幼いころを思い出しく説明に聞き入る会員



刈払機の刃の研ぎ方の講習を受ける新入会員

会員の広場

『地域文化の継承・注連飾り』



公益社団法人  
北栄町シルバー人材センター

長谷川 孝 司

4年前、還暦野球仲間間の事務局長から「しめ飾り作りをやってみないか」と勧誘され、軽い気持ちで製作グループに加えていただきました。仕様に沿った諸作業は予想以上のもので、手間仕事に閉口頓首。しかし「地域文化の継承」という名文句に乗せられて作り続けてきました。しめ飾り作りの他、シルバーへの顔出しも多く、春には園児との交流田植え（もち米）など、秋には初めての「日帰り研修（出雲方面）」などで大いに英気を養っています。

当シルバーのしめ飾り作りは、合併前の北条町時代から続く伝統的事業となっており、モチネ藁が準備できる11月に入ると稲や蕎麦の収穫期と重なり「テンテコマイ」。そんななかで注連飾り作りの作業に入ります。

藁削ぐり（ソグリ）に始まり、藁しべ選り（スボヨリ）、藁打ち、3本撚り右左縄緋（継ぎワラという手間も加わる）、めがね仕上げ、毛羽とりをして納品となります。12月上中旬は、他行事等と納期を見ながら、しばしば夜間の作業も行い「ああ忙しい」と小声を漏らせば、「無理しなんな、なんぞもつと減らしなれッ」と家内の大声で返してきます。今年も「緋い遂げるぞ」という挑戦の気持ちで黙々と作業小屋に籠ります。目標数への目処がついた時

の開放感・達成感は何とも言えません。

また、しめ飾り作り班は「打合せ会」、「反省会」で輪を固め、「懇親会」で和を深め、製作にかかれば、心身を清め、1個1個心を込めて緋い、良い品を収め続けたいと努めています。師走の25か26日は早朝からセンターに20名程の会員が集まり、裏白・ゆずりは・紙垂・水引・密柑で「飾り付け」を行い、注文家庭に配付して回ります。

日常生活様式は変わってきても、こうした多くの会員の思いの詰まった注連縄が家々の玄関に掲げられ、地域全体が夢と希望に満ち溢れた清々しい正月の神迎えをしてもらいたいと願いつつ、一つ年を重ねます。

事務局諸氏の諸準備・調整力に感謝するのは無論のこと、年齢と手指の疲労度を勘案しながら、割当数の注連縄を真心込めて緋い続けたいと願っています。地域文化の継承のために・・・

※注連縄あれこれ

鳥取県の東部地区では「えび注連」、西部地区では「輪注連」、中部地区では「めがね注連」が多く分布しているようです。



2015/11/05

会員の広場

生涯現役をめざして



公益社団法人  
智頭町シルバー人材センター

白間 敏

私がシルバー人材センターに入会してからもうすぐ3年が経ちます。退職前は訪問介護員をしていたので、介護移送車両の運転手ならできるなかなと思いついて入会しました。シルバーで就業する以外の日には畑仕事や、杉玉作りをしています。

国の重要文化財となっている石谷家住宅が平成13年の春、一般公開されることが決定したことで周辺の智頭宿で「町を見に来てもらおう」という意識が高まっていくなか、杉の葉で作った「杉玉」が観光客へのアピールになればと始まった杉玉作り。



当時私は休職中だったこともあり、これなら私でもできるかなと、見よう見まねでやり始めたのが杉玉との

出合いのきっかけでした。枝打ちや間伐した杉の青い枝葉をもらってきて、針金で芯となる球体をつくり、大きさのそろった杉葉を差し込んで、半分くらい差し込んだら粗方切り揃え、隙間があいたらまた杉葉を詰めて、を繰り返して、いかにぎっしり詰まっ

制作過程①



②



③



た杉玉にしていくかが腕の見せ所、ずっしり重い杉玉をまるく切り揃えていく時に納得のいく出来栄になると、自己満足ですが嬉しいものです。

杉玉には屋根や木札もつけますが、30年ほど前にしていた大工の下手間で培った技術が少しは役に立っています。

毎日程よく晩酌をし、35年間週に2回バドミントンも続けています。今年に入って妻が退職したので、二人で熱海フルムーン旅行にもいき、恥ずかしながら記念写真も撮影してもらいました。

元気で働けて

年金以外のお小遣いもあるので旅行にも行くことができるのだと思います。

最近は孫のところに行くことも楽しみのひとつで、少しは孫の好きなものも買ってやれるといいなと思いつながら、仕事に出る日、杉玉作りや畑仕事、メリハリのある生活は多忙ではありますが、本当に楽しく感じられます。

まだまだ現役、老後なんて辛気臭い言葉は封印して、程よく働きほどよく遊び生涯現役めざしていけたらと思う今日この頃です。



# 趣味のひととき

一般社団法人  
八頭町シルバー人材センター

矢山 貢

異常気象、特に酷暑、大雨の一年、仲間のシルバ―会員の元気健康な就業の姿に励まされ、会員となつて七年、「安全で怪我のない」願いいっぱいで歳を重ねています。



さて、「趣味」について：老若男女問わず人生の充実の力、趣味あつての老齢生活での輝き、生きている一部いや全部にさえなる「趣味」であります。日々の達成感、人生いっばいの達成感、趣味を持ち楽しんでる人の輝き、種類の多さ、内容の濃さ、楽しんでる人を見る度、羨ましい限りではありませんか。どっこい私とて不器用貧乏ながら活発に元気な毎日なのですが、私にも一つだけいつものゴルフより、畑の草取りより、また山登りよりがなればれそうな「趣味」らしき話がありまして、恥ずかしながら二枚の写真のとおり披露します…。

私の祖父は名人と云われる程でなくとも、生涯千代川沿いで鮎つり専門の竹竿づくりを生業としておりました。山で竹を切り、蒸して虫殺し、干して、切つて、削つて、つないで、漆も塗つて、しなる継竿の名品。昔語りで爺さんの作つた竿を大事に持つていると言う老人もいたり…。

この竿づくりが「習わぬ経を覚え」の例え、子供の頃からの遊び、竹を切る削るなど得意中の得意、ずっと竹加工が楽しく、竹づくりの品物を見ると、色艶といい、強さといい、時を経てアメ色に。竹は実にすばらしいとの思い。さて、冬のある日長年の夢、思い切つて竹細工の先生に習いに行きました。冬



期の家仕事に月に二回、4ヶ月かけて一心に熱中没頭、切つて、割つて、削つて、シルバ―、ゴルフの合間に、食べる間も惜しい、必死、充実、こつこつ励みました。その後春になり休憩してそのままアウトドア生活、いつか又執心したい「趣味」としての竹細工、自分自身にも、ふたたびの期待をかけているこの頃でございます。

講習会に参加して

調理アシスタント講習



孝田 順子

平成27年度シニアワークプログラム地域事業として、10月1日から7日間の日程で調理アシスタント講習が日吉津村のヴィレステひえづにて、開催されました。

退職するまで事務関係の仕事をしていましたが、何か他の事に挑戦してみるのもいいかなと思いついて講習を受講しました。開講式・オリエンテーションに続き座学が3日間、4日目からは午前中調理実習、午後座学が3日間、最終日、座学・閉講式・面接会等で全日程が終了しました。

座学では難しい話では？眠くなるのでは？という想像していましたが、解りやすいカラーの絵が入ったパンフレット等を使い話されたので興味をもって聞くことが出来ました。調理実習では、和食・洋食・薬膳食と多種の料理を4グループに分かれ作りましたが、受講生の中に調理経験の方なのかテキパキとアシスタント的に動かれている方がおられスムーズに調理出来とても助かりました。ありがとうございました。

毎日のんびりと過ごして7日間のこの講座大丈夫かと不安もありましたが、食品・調理現場の衛生管理、調理の基本・技術そしてこれから多くの人達に関係してくると思われる、イキイキシニアにな



る為の介護予防又高齢者の栄養、食事のあり方、生活習慣病の予防等有意義なお話を沢山勉強させて頂きました。特に、鍛冶木いづ子先生の海外でのボランティア活動の話には驚きと感銘を受け、『皆さんもボランティアをしましょう』と言われた言葉がとても印象に残りました。

今回の講習で学んだ事を今後地域の活動等でも生かして行けたらと思います。

7日間お世話になりました講師の先生方、関係者の皆様、シルバー人材センター連合会の皆様に感謝し、厚くお礼申し上げます。

ビジネスパソコン講習



竹本 とも子

平成27年度シニアワークプログラム地域事業として「ビジネスパソコン講習・鳥取会場」が6月9日から9日間(有)タツチ塾にて開催されました。

受講の動機は、パソコンが少しでも使えたら就職活動の幅が広がると思ったからです。若い時10年事務をしていましたが当時はパソコンがありませんでした。その後育児を経て調理師として働き、3月末の退職の時、知人から事務補助の話をお願いしたのですが、全くパソコンが使えなかった私には「お願いします」の返事が出来ませんでした。そんな時、新聞折込にパソコン講習のチラシを見つけたのです。初心者・55才以上の言葉が背中を押してくれました。そのチラシを持ちハローワークの職業相談窓口で受講申し込みをしました。

とても分かり易いテキストが準備してありました。書いて覚えないと不安なので後でいつでも見て分かる様に一生懸命ノートも取りました。講師の先生、助手の方と、何回でも何でも答えて下さり、話を聞きテキストを見て、ホワイトボードを見、パソコンを打ちノートも書き、本当に夢中で勉強しました。最初は緊張しましたが、同年代の皆様と一緒に心が強く、ハローワークのパソコンさえ使えなかった私が、インターネット・メールが出来、ワードとエクセルも使い文章や表を作る事が出来る様になりました。

今回の講習を通して学んだ事を、これからの就職

活動に活かしながら、大きな自信とまではいきませんが頑張ってみたいと思います。  
9日間熱心に教えた下さった講師の先生方をはじめ、関係者の皆様、そしてシルバー人材センター連合会の皆様感謝し厚く御礼申し上げます。本当に有り難うございました。



## フォークリフト運転技能講習 「人間は行動する動物」



三上 和男

69歳と6ヶ月でフォークリフト運転技能講習を受講させていただき、なんとか運転資格を得ました。この年齢にして、なぜ資格を取得しようとしたか？  
・得ることにより再就職が有利になると考えたからです。

事実資格を得てイオンアグリ安来農場に勤め活用させております。これもシルバー人材センター連合会のおかげと感謝しております。

人間は可能性を求めて行動する動物です。行動するには「金力」「知力」「体力」が必要です。人間が人間らしく生きていくのに必要な「力」です。だからお金が必要なのです。だから働くのです。

私は、本年2月に70歳になりますが、身体は概ね良好。勿論、現役や予備役時代のように体を駆使できるほど体力はありません。だが、それなりの労働に耐え得る体力があります。現在求人倍率は増えてきておりますが、働き手が不足しているのです。現役や予備役を終えても、働く意欲を失ってはいけません。家において粗大ごみになってはいけません。テレビの子守だけではないけません。だが、それなりの年齢であり、主治医を持つことは大切です。が働き・動くことにより確実に病院通いは少なくなり、国民健康保険の支出を少なくさせます。介護保険を利用しなくて済む方が幸せなのです。若い人や現役の人の負担を極力減らさなければなりません。即ち体

力に応じて働くことは、自己のため、社会のためになると思います。

私の予定欄はスケジュールで一杯です。イオンアグリ安来農場の当番、妻木晩田遺跡公園のボランティアガイド当番、公民館や自治会活動、趣味の自家菜園、読書（市図書館通い）時には、コンサート（昨年11月グリーンミラーオーケストラ米子公演に感動・感激）を聴きに。

私は元航空自衛官、定年後も多忙です。



# 公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社)鳥取市シルバー人材センター	西根 弘康	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	宇野 治己	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	高松 武美	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	安達 幸男	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 寛夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	溝口 修	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	小居 貞歳	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	近藤 昭夫	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春寿	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211
日南町シルバー人材センター	池岡 利行	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



特選とっとり松葉がに  
『五輝星』(いつきぼし)

新年明けまして

おめでとう

ございます

## 表紙のことば

金持神社(かもぢいんじや)

金持神社は金運祈願・開運祈願で有名になつた今は、多くの参拝者が訪れ人気のスポットとなつています。中には参拝し商売がうまくいった、ロトにあたったなどの開運があるそうです。場所は米子市から岡山方面国道181号線沿い四十曲トンネル手前右側です。開運グッズも色々あります。根雨の町には鳥取県の県鳥「オシドリ」の観察小屋もあります。観光にこられたら是非お立ち寄りください。

## あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第30号の発行を迎えることができました。まずもつて、厚くお礼申し上げます。  
平成27年は、地球温暖化の影響で猛暑による熱中症の急増・記録的な集中豪雨による洪水・河川の氾濫等暗いニュースばかりでした。  
今年、明るい話題が日本中に溢れるような一年になればと祈っています。

会報 鳥取 第30号  
平成28年1月発行

発行：公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会  
所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76  
電話：0859-37-2531  
FAX：0859-37-2537